

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	堀口発達支援センターひかり		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 2月 6日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の障害特性に合わせた構造化の導入。	スケジュールや活動のルールを視覚ツール使用し提示している。言語表出ない子に絵カードの使用や活動場所を明確にしている。	さらに構造化を進めるため、支援ツールの作成や構造化を進めていく。
2	児童が楽しみながら療育できるような行事の企画。保護者への支援としての行事の企画。	年間行事・月行事・季節の行事を企画し、児童が楽しみながら活動のルールを習得できるようにしている。茶話会を定期的開催。親子行事も年1回実施している。	今後も児童や家族から聞き取りし、児童が楽しめる行事を企画していく。また保護者間の交流ができる機会を設けていく。
3	専門的支援の実施。	言語聴覚士・理学療法士・作業療法士定期的に来所し、訓練実施している。	今後も継続していけるよう連携を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇時の活動場所の確保	放課後等デイサービスの児童と児童発達支援の児童が一緒になった際、活動場所の確保が難しい時がある。	建物を増やすことは難しいので、外活動等をうまく組み合わせるなど、活動内容の工夫や個々のスケジュールに配慮していく。
2	非常時のマニュアル等の家族への周知	マニュアルはあるが家族への説明が行き届いていない。	保護者に対し、文書や保護者が集まる茶話会で早急に周知するようにしていく。
3	保育所や認定こども園、地域で他の子どもと活動する機会	どのタイミングでどのように関わればよいのか検討中。	具体的に交流する場を関係機関に相談していく。